

公益社団法人白河青年会議所 2018年度

事業報告と御礼

第60代理事長 有賀 一裕

60周年という節目を迎えた白河青年会議所は、伝統を築き上げてきた多くの先輩方が卒業し、若いメンバーが多くなる非常に大きな転換点を迎えました。

多くの伝統的な事業や発足当時の想いを知らないメンバーが多くいる中でのスタートとなりました。その強みを活かし、伝統や今までの慣習にとらわれない考え方と行動力が示すことができる一年でもありましたが、今までの伝統を受け継ぐことの大切さも重く感じる一年でありました。この両方がうまく絡み合っただけで進んだとき、僕たちが目指す、伝統の継承ができたのかもしれませんが。伝統の継承は継続ではなく、当初の想いを感じ、その想いを新しい形で現代につなげること。この言葉を言い続けてきた結果、10年間という長きにわたる事業、大昭和祭りの精神を引き継ぎ新たな可能性への挑戦をしていくNEXTしらかわの開催で皆様に示すことができました。

これから来るであろう未来、今行われている現代の流れをつかむことができる事業になりました。この事業を創っていく過程には様々なメンバーの活躍がありました。

一年を通して、だれもが輝くしらかわを実現するため、委員長をはじめとする理事メンバーが積極的に委員会活動を行ったり、事業、定例会など多くの活躍の場面を演出してくれたりしました。私たちが輝くことで地域を輝かせることができる、そう信じて行動をしてきました。私としても少しでも会員のモチベーションのアップにつなげるため、月に一度MVPを発表するなどの工夫を凝らしてきました。会員一人一人のモチベーションをあげていくことで、会全体の士気をあげることができ、活動、運動が非常に活気づきました。

そして、念願の100%例会の達成を実現することもできました。誰かのために頑張る。頑張っている人がいるから頑張れる。そんなチームワークがいつの間にか自然に出来上がってきました。どこの団体にも負けないNo.1のチームをつくりあげることができました。この流れは、地域に及ぼす影響力として各市町村、各青年団体とのつながりにも変わっていきました。みんなで造り上げた新しき伝統とこの道が今後も続いていくことでしょう。また、メンバーの活躍でいえば、今年は多くの出向者を輩出しました。その一人一人が活躍をし、成長を遂げていました。その姿にまたメンバーが刺激をうけ頑張ってみようという気持ちが湧いて出てくるなど、素晴らしい効果を生んでくれました。今年一年のメンバーの成長は次年度への素晴らしい力となることでしょう。年間を通した事業においては、今ある魅力を最大限に発信し、僕たちの考えで新たな付加価値を気づいていくことができました。しらかわ地域の魅力の一つでもあるゴルフ場が多いという立地を活かしたまちづくりへの出発として、子供たちにゴルフの魅力を知ってもらい、地域を誇りにおもっても

らうことを親子のコミュニケーションを通じて学んでもらう事業、スナッグゴルフを開催いたしました。多くの参加者がたのしくプレーしながらしらかわの魅力に触れていただきました。つづいて、強く逞しいひとになってもらうべく開催をした事業、つよたくキャンプでは、自然の大切さを学び、当たり前にあるものがいかに大切であるかをしっかりと子どもたちに伝えることで、食べ残し、資源の無駄遣い、環境汚染問題などにしっかりと触れていただくことができました。またメンバーの成長にもつながりました。青年会議所活動をしていると多くの食事をする場面がありますが、その時その場面において無駄を省き、食べ残しせず、また環境にやさしくするように電気をこまめに消すなどの行動をみんなで行ってきました。一つ一つの行動の変化が大きな変化をもたらしていくのですね。

僕たちは、常にスペシャリストとして自らの職業にあたっていますが、ここで得られた学びを活かすことで様々な視点から考えることのできるジェネラリストへの成長へとつなげることとなりました。文武両道、質実剛健を目指し、開拓者の精神をもって行動する青年へと変わることができたことと確信しています。そして、この成長には多くの支えがあったからであると思います。一人で輝くことももちろんできますが、支えがあればなお輝くことができるのです。そんな役割を自らの輝きで照らしてくれた総務委員会、踏み込むための大地を創ってくれた財政室。豊かな大地と太陽の存在がみんなを輝かせてくれたのだと思います。

白河青年会議所を輝かせるために僕自身が行動することで会の注目が高まることができると信じ、受けることができることはしっかりと受け、地域に貢献することに徹してきました。その結果、メンバーには新たな挑戦を何度もしていただくことにはなりましたが、結果として白河青年会議所の存在感を十分に出すことができたのではないかと考えています。何かに向かって、いま目の前のことに集中し、全力で取り組む姿は、とっっても輝いていました。しらかわはひとつ～輝こう一緒に～というスローガン通りの結果をもたらすことができました。結びに一年間の皆様への感謝と敬意を表し、事業報告とさせていただきます。一年間誠にありがとうございました。

直前理事長報告

直前理事長 十文字 俊之

この一年、先輩諸兄の皆様には、60周年という節目を迎え、記念式典や記念事業等につきまして、有賀理事長を始めとする今年度の活動と運動に対して多大なるご支援、ご協力を賜って参りましたこと、私の立場からも心より感謝申し上げます。私自身、直前理事長としての一年間を無事に終えることが出来ました。この一年、現役とは違う立場で青年会議所活動を見せていただき、非常に良い経験が出来ました。現役メンバーに伝えるべきことは様々な機会に伝えさせていただきましたので長々とは述べませんが、失敗を恐れずに全力で取り組む気持ちを忘れずにこれからも活動をして欲しいと思います。

さて、2019年は2020年に誘致が決まった。福島ブロック大会を主管する準備の年ともなります。私も一現役として全力で応援していきたいと思いますが、先輩諸兄の皆様におかれましても、さらなるご協力ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。最後になりますが皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ直前理事長としての挨拶に代えさせていただきます。

副理事長事業報告

企画室担当副理事長 金子 善弥

「百花繚乱～先人のあとを追うな、先人の求めたものを求めよ～」のスローガンの下、1年間企画室担当副理事長として全力で邁進しました。

スタッフ会議、企画室会議の設営を担い、全委員会の定例会や事業の方向性の修正や改善に携わることが出来た事は、自分にとって非常に充実した経験とすることが出来ました。会議の進め方や議案の落とし所を決めることは非常に困難で、最後まで上手く出来たのかは分かりませんが、有賀理事長が掲げる「しらかわはひとつ」のスローガンの基、60周年の事業の全てを滞りなく達成出来た事は、非常に良かったのではないかと考えます。

企画室として選挙教育プログラム「みらいく」や公開討論会を担当出来た事も良い経験とする事が出来ましたが、何と言っても60周年記念事業を担当出来た事は、人生におけるかけがえのない貴重な経験となりました。

10年間続いた大昭和まつりが終演を迎え、新しく事業を始めるにあたり、一体何をすればよいのか、どんな内容の事業が良いのか、年度が始まる前から沢山悩み、葛藤を繰り返しましたが、多大にサポートして頂いた両副室長やメンバーの皆様、そしてOBの皆様の御協力のお陰様で何とか「NEXT しらかわ！」という事業を形にする事が出来ました。本当に有り難うございました。

企画室長という大役を全う出来たのも、理事長始めメンバーの支えがあったからだと強く感じています。この1年の経験を糧に、来年も全力で邁進して行きます。1年間、本当にお世話になりました。心から感謝申し上げます。有り難うございました。

財政室担当副理事長 金澤 史典

「礎」のスローガンのもと、各委員会に対し財務面から事業の公益性や費用対効果などを原則に基づきアドバイスをさせて頂きました。年度前半は各委員長とも、会計について多少の苦慮が見て取れましたが中盤以降は、指摘の数が減っただけでなく、各会議に臨む準備をする傾向にあり、年間を通しての成長を感じました。各委員長のポテンシャルの高さを改めて感じさせていただきました。

また、「若竹」発行事業、編集校正事業に関わらせていただき、新たな気づき、学びを経験させていただきました。そして「10年後に届くハガキ」発送事業では先輩諸兄にご協力

を仰ぎながら無事に届ける事ができました。ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。今後もこの公益社団法人格を続ける為には一人でも多く、会計に携わっていただければと思っております。結びに、私を支えてくれた片桐室員、小磯室員、十文字室員に心からの感謝を申し上げ、事業報告と致します。

輝くひとづくり担当副理事長 白岩 修一

2018年度は輝くひとづくり担当副理事長を務めさせていただきました。初めて副理事長と言う立場で委員会に携わらせていただき、自分はどうのように委員会に向き合っていけばいいのか当初より考えてきましたが、吉成委員長の強いリーダーシップときめ細やかな気配りの出来る片桐副委員長、そして、いつも協力的な委員会メンバーに圧倒され、お飾りのような副理事長であったなど申し訳ない気持ちであります。

輝く人づくり委員会は5月定例会のストレスマネジメント、7月定例会のJCゲーム、10月は親子で一緒にスナッグゴルフの事業を行いました。

10月事業では親子、地域間交流により補助金の対象になるのではないかとこの事で、補助金申請を依頼し、委員長には度重なる苦勞を掛けてしまったと思う反面、委員長の熱い想いを感じる事が出来、とても嬉しく思いました。スナッグゴルフ事業前後一週間は秋晴れの天気にもかかわらず、事業当日は朝から悪天候により開催自体危ぶまれましたが、委員会メンバーの臨機応変な対応と素早い決断により開催することが出来、午後には雨も上がり当初予定していたゴルフ場でのスナッグゴルフを行うことが出来た時の、参加者の笑顔溢れる姿を見た時には本当に最高の気分になりました。

この一年間輝く人づくり委員会の担当副理事長として関わる事が出来、とても感謝しています。

これからは卒業生として皆様の活動を陰ながら応援させて頂きたいと考えております。

今後の白河青年会議所メンバーの皆様の更なるご活躍を期待し報告とさせていただきます。

強く逞しいひとづくり担当副理事長 上田 雄介

今年初の副理事長として、会の三役として活動させていただきました。

前年度の委員長という立場から考えると全く違った見方をしなければならず、非常に勉強になる一年であり、仕事や私生活では経験することの出来ないものでありました。

また創立60周年と記念すべき年でもあり、今まで先輩諸兄が築き上げて来られた伝統に敬意を表すとともに、守るべき使命や時代に合わせた新たな試みに挑戦しなくてはならない責任感等の葛藤もあり、副理事長のバッジの重さを感じる次第でした。

それでも担当委員会には恵まれました。ガテン系が揃ったメンバーは常に前向きで、全体事業の前日準備の主役はまさに当委員会であったと自負しております。

理事長所信に基づく事業計画のもと佐藤委員長が紐解いた定例会・事業は、それぞれに特色があり、何より卒業生である佐藤委員長の人間味溢れる場面も幾度となく見る事が

出来ました。特に青少年育成であるキャンプ事業は、企画から準備とそれぞれが主役で輝いており、その結果が子供たちの成長や輝きとなったことに間違いありません。

副理事長の立場から感心の眼差しで終始見ておりました。

今後もこのような事業を行っていくことができれば、青年会議所の魅力を大きく発信できると思います。今年お世話になったすべての方に感謝し事業報告とさせていただきます。

輝くしらかわ創造会議担当副理事長 成井 匠

本年は創立 60 周年ということで、例年にはない「輝くしらかわ創造会議」という部署を運営させていただきました。その際に、55 周年時に定められた「しらかわ未来ヴィジョン」を見直し、次の 10 年を見据えた目標・方針を策定させていただくという大任をいただきました。現在の技術は日進月歩で革新が続き、私たちが遠い未来の事だと思っていた事が、次々と実現されていきます。正直、この早い流れの中で、この先 10 年の未来を考えるのはとても困難なことだとプレッシャーを感じていました。しかし、実際には 60 年の歴史を紐解く中で、時代が変わっても変わらずに受け継がれてきた大切なものがあったことを知りました。多くのメンバーや諸先輩方に教えを頂き、10 年後もきっと続けていけるであろう指針を作ることができたと思っております。一年間、共に悩みながらも考えてくれた石川さん、近藤さん、そして定例会で多くの意見を出してくれたメンバーの皆様に感謝の意をお伝えして事業報告とさせていただきます。ありがとうございました。

ひとを照らす総務委員会担当副理事長 鈴木 豪彦

今年度白河青年会議所は 60 周年という節目の年を迎えることができました。それに伴い当委員会に課せられた最大の使命は 60 周年記念式典を成功させることでした。大切な式典で失敗は絶対に許されませんでした。

片野委員長のリーダーシップのもと委員会メンバー一丸となり早い段階から準備を進め、何度もリハーサルを行い、多くの人から意見をもらって修正を重ねてきました。式典当日は予期せぬことが色々と起きましたが、メンバーの皆様と力を合わせ無事に乗り切ることができました。もちろん反省点は多々ありましたが、大きなミスもなく終わられて本当に安心しました。記念すべき 60 周年の年に総務担当副理事長に任命していただき有賀理事長には感謝の気持ちしかありません。ありがとうございました。それと片野委員長一年間本当にお疲れ様でした。

専務理事報告

専務理事 有賀 毅

2018年度理事長スローガン「しらかわはひとつ ～輝こう一緒に～」を下に有賀一裕理事長と共に一年間専務理事として務めさせて頂きました。三役・理事・監事・メンバーに支えられ多くの事を経験させて頂きながら、一年間職務を全うさせて頂きました。LOM外に出向にでる機会も今まではほとんどありませんでしたが、今年度の活動のおかげで福島県内外に多くの知り合いを作ることができました。今後のJC活動や人生において必ず生きてくるつながりができたと実感しています。専務理事へ任命していただいた有賀一裕理事長には感謝しかありません。また私と共に会の各種運営を手伝って頂いた、片野仁人総務委員長をはじめとする総務委員会の皆様、会の財政面で支えとなって頂いた、金澤史典財政室長、また色々とお手伝いやフォローして頂いたメンバーの皆様にもこの場を借りて御礼申し上げます。

本年は創立60周年ということもあり、周年式典の企画運営があったり、他団体との連携・交流が例年にはない程たくさんあったりと慌ただしい一年間でした。これは今年度有賀一裕理事長が「しらかわはひとつ」のスローガンの下作り上げていった絆であると信じています。そしてこれは今年度だけで収まることではありません。次年度以降も続いていく関係でありますし、ただ式典や事業に顔を出しあうだけでなくお互いに協力し合える関係であると思います。この各種団体との協力関係を基にさらなるしらかわの発展を推し進めていけるような事業計画が作られていくと嬉しく思います。今年度有賀一裕理事長が残した財産が未来永劫しらかわの発展に寄与していくことを願ひまして私の事業報告とさせて頂きます。

監事報告

監事 鈴木 浩一郎

ラストイヤーということで、3度目の監事を務めさせて頂きました。有賀理事長は自らの行動と背中で、周年理事長としてふさわしいリーダーシップを発揮されました。スローガンでもある「しらかわはひとつ ～輝こう一緒に～」のもと、ここ数年の白河JC以上の一体感と雰囲気の良いさを感じることができたこと、今後の白河青年会議所の飛躍を予感させる一年となったと実感しております。

今年度は行政、各種団体の皆様には大変お世話になりました。今後とも白河青年会議所の現役メンバーにたいしてご指導くださいますようお願い申し上げます。そして白河JCの皆様

様、JCに入らなければわからないこと沢山ありました。私自身も育成していただいたと思っております。12年間お世話になりました。

監事 矢田部 展崇

創立60周年の節目に監事として活動することができたこと、有賀理事長をはじめメンバーの皆様に感謝申し上げます。公益社団法人の監事として法人の財産状態や理事の業務執行を監督して参りましたが、問題なく2018年度を終え2019年度へ引継ぎができることをご報告いたします。さて、この一年、執行部から一歩離れ白河JCを客観的に見てまいりましたが、有賀理事長のもと、創立60周年にふさわしい活動や運動ができていたと感じました。より良い事業をと思いメンバー一人ひとりが妥協せず、悩み、そして共に歓喜し、良いチームワークができていたからだと思います。新たな10年へ向けての礎となるべく、今年度の経験を糧に優しいだけの監事ではなくモノ言える監事として精進して参ります。ありがとうございました。

企画室事業報告

企画室副室長 緑川 正博

この1年間は成長と感謝の1年間でした。

初めての理事としての役割や企画室という重要な会議体に自身を置かせていただくことに対し、当初は楽しみしかありませんでした。

しかし、その役割の重要さや責務の多さに立ち止まりそうな時もあったことは事実です。特に全体事業である「NEXT しらかわ!」では、ほぼ毎日をJCにつき込んでいたにも関わらず、全体事業の成功へ進んでいる実感を持つことができず、悩んでおりました。

そんな時、企画室の仲間である金子善弥室長や渡辺道直副室長に支えていただき、一歩ずつ進むことができました。又、会議体の垣根を越えて他の委員会の方々からも多くのアドバイス等をいただき、助けていただいたことで全体事業を成功させていただくことができましたと思います。

(公社)白河青年会議所メンバーすべての方々、OBのすべての方々、そしてしらかわ地域のすべての方々に心から感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。

感謝の気持ちを込めて来年以降も成長した自分がLOMやしらかわのためにできることを全力で行動していきたいと思っております。

企画室副室長 渡辺 道直

創立 60 周年を迎えた白河 J C 史上、節目の 2018 年。金子善弥企画室長を先頭に、同じ副室長である緑川正博君と共に、2017 年後半より「百花繚乱～先人のあとを追うな、先人の求めたものを求めよ～」をスローガンに掲げた年間事業計画を確実に遂行出来るように活動を進めて参りました。

60 周年記念事業（6 月）及び 60 周年記念ゴルフコンペ（7 月）の企画運営、企画室スタッフ会議及び企画室会議の企画運営（通年）、定例会の企画運営（2 月、9 月）、未来の有権者教育プログラム「みらいく」の企画運営（6 月）、卒業生追出しを含むじゃがいもゴルフコンペの企画運営（通年）、ボランティアネットワークの管理運営（通年）、2020 年度開催予定の福島ブロック大会の誘致活動（5 月）と、様々な活動の場を与えて頂きました。

準備期間を含む各種事業や定例会では、当然のように苦しく大変な場面にも数多く直面しました。そんな時、同じ企画室メンバーはもちろんのこと、有賀一裕理事長をはじめとする白河 J C メンバー全員が手を差し伸べてくれて、励ましの言葉もかけて頂き、「誰のため？何のため？」の答え合わせを行いながら私は前に進むことが出来たと思っております。

在籍暦の短い私にとって最終年となった 3 年目の今年。副室長として選んで頂いた金子室長の期待に応えられるように覚悟を持って精一杯全力で走りました。私自身、激動のこの 1 年間はあっという間に感じるもので、多くの学びや気づきを得ることができ、そして何よりも、多くの仲間たちとの強い絆を感じられる年となりました。

まだまだ続く現役の皆様には、目的に向けて一步一步着実に歩み、そして、失敗を恐れずに挑戦し続けて頂きたいと願います。これからの自身の成長と活躍を期待しております。

最後になりますが、現役最後の年を 2018 年度メンバーと共に過ごした時間は、かけがえの無い貴重な成長の糧となりました。それは一生忘れることがないでしょう。本当にありがとうございました

輝くひとづくり委員会事業報告

輝くひとづくり委員会委員長 吉成 茂

2018 年当初、輝くひとづくり委員会の委員長として「新たな経験～成功、失敗のその先へ。挑戦を望んでいる」のスローガンを掲げ、自らの経験を活かしスペシャリスト、ジェネラリストを目指し様々な経験を皆さんに感じていただきたいという思いで、2018 年を駆け抜けてきました。

まず初めに心理学から学ぶ人の成長を企画しました。心理学の視点から己を知り、そしてそれを周りに伝える。私の経験からこの己を知ることはこれからの社会生活で重要だと思い計画させていただきました。

第二弾に J C カードゲームを通し、成長意欲の向上を目的とした定例会を行いました。そ

それぞれの考え方を再認識し、JCを知り、役職を得るなどJCライフ以外の会社、社会にも繋がる個人の成長を感じていただきたいという思いで企画させていただきました。

最後に「親子でいっしょにスポーツ共育～スナッグゴルフ～」事業を行いました。挨拶、マナー、コミュニケーションの重要性を再認識していただくため企画しました。あいにくの天候で100%成功とは言えなかったですが、親子の楽しそうな笑顔、マナー、コミュニケーションなどの学びをそれぞれが経験できたことがよかったと思いました。

この1年間様々な定例会、事業を任せていただきましたが委員長を経験し周りの方達の大切さを一番学んだと思います。現役、OB含め様々な人の助けがあって形になったと思っています。本当にありがとうございました。そして何事も挑戦なしでは人の成長は望めないと感じさせられました。

1年間本当にありがとうございました。

強く逞しいひとづくり委員会事業報告

強く逞しいひとづくり委員会委員長 佐藤 大士

「勇気を持って！自分らしく、楽しく、正直に。」をスローガンに、強く逞しいひとづくり委員会の委員長を1年間やらせていただきました。

4月定例会～時代に合わせて進化しよう～

技術の発展にスマートフォンやAIなど日々変化してく時代に焦点をあわせ、子供たちの教育の方法や生活、生き方についてこれからの時代をどう生きていくべきかを、アクティブラーニングを用い考え方を進化させました。

同月に観桜会と60周年式典に向けて、新人セミナーを同日に開催しました。新人研修セミナーは、今後実施されるであろう60周年式典に向けて例年より早い開催となりました。新人は8人中6人出席していただきました。人数不足のため委員会メンバーが講師役を2つ兼務しなくてはならない状況でしたが、みなさん非常に質の高いそして楽しい講義だったと思います。また、事業について学ぶで、鈴木浩一郎監事に講師役をお願いし、檜原湖キャンプ事業の話をして頂きました。私個人にとっても思い出深い事業だったので感慨深いものでした。本当にありがとうございました。そして、式典に向けたOB講演では年本逸人先輩にお越しいただき、「苦言です。～55周年式典を成功に導くまで～」と題し、大変貴重な体験談をお話しいただき、新人のみならず現役メンバーにとっても非常に参考になる講演だったと思います。講演依頼を快諾してくれた年本先輩にも大変感謝しております。日曜日にもかかわらず朝から晩までご協力いただきありがとうございました。

2018年度の観桜会は、～しらかわはひとつ～のスローガンの基、矢吹で初開催しました。

今年は、新人研修セミナーと同日開催で、居酒屋の青春を観桜会で実施し、多くの OB から貴重な話を拝聴し交流を深める狙いが貴重な話を拝聴し交流を深める狙いがありました。みなさん楽しそうにお酒をのんでいたのが印象的で、思惑通りに行かなかった部分もありましたが、楽しい観桜会であったと思います。参加頂いた皆様、本当にありがとうございました。

6月の60周年記念事業 NEXT しらかわ！では、ステージを担当しました。副委員長の小磯祥晃君とスタッフ委員の北住平君が中心となり、きゅうりの早食い根田の味噌で食ってみそ！や、安部先輩達のバンド、セルフストラップのライブなどでステージを盛り上げて頂きました。ご協力頂いた皆様、ありがとうございました。

8月には、強く逞しくなろう！生きるとは食べること！つよたくキャンプの開催。サポート事業の補助金も無事に獲得でき、参加者も72名と予定の募集人数でした。副委員長の小磯祥晃君が筆頭になって、僕の想いを実現させてもらった事業だったと感じています。多忙の中、時間を割いて、現調につぐ現調、今回の事業で強く逞しく成長したのは、当委員会と言っても過言ではないと思っています。不便なかまどでの調理体験や、厳しい行程の登山や沢歩きハイク等、心身共に活発に活動ができたことは、参加者にとって、良くも悪くも思い出に残ったと思います。当日の参加者たちの笑顔や、登山時の疲労した顔などを思い出すと、日常のありがたみを感じ、心身共に強く逞しくなったのではないかと思います。つよたくキャンプの経験で、参加者それぞれが、それぞれの強く逞しいひとを目指し、成長してくれればと思っています。ありがとうございました。

10月には、東白川青年会議所との10月合同定例会の開催。

おこがましい話ではありますが、卒業生として会の為に何か残せないかと言う想いで始めました。会員拡大問題はすぐには解決できませんが、様々な団体と交流を深め、お互いに助け合えば物凄く大きな力となり、会員減少問題を補えるのではないかと思います。今回の定例会を企画しました。すぐに交流が深まるなんてことはありませんが、近い将来（公社）白河青年会議所を中心に様々な団体と、素晴らしい交流ができていて、とんでもない発想なんかも、会の垣根を超え一致団結し、想いを実現してしまうんだろうと、今から楽しみです。

お陰様で、年当初に言っていたことは全てできました。そして、全て満足の行くものでした。筆舌に尽くし難い素晴らしい経験をありがとうございました。すべて委員会メンバーのお力添えのお陰様です。1年間本当にお世話になりました。感謝。

ひとを照らす総務委員会事業報告

ひとを照らす総務委員会委員長 片野 仁人

当青年会議所は、昨年創立 60 周年を迎えました。「しらかわはひとつ ～輝こう一緒に～」というスローガンのもと、有賀一裕理事長を先頭に、一年間活動して参りました。我々ひとを照らす総務委員会は、会の土台としての役割を努めて参りました。総務委員会は、例年通りのことを、例年通り行えば良いという認識を持たれることがあります。私達は、「真面目に、一生懸命、楽しんで」というスローガンを定め、委員会活動に取り組んで参りました。総務の役割を担う際、こうしていれば良いと思い、業務に取り組み続ける時間を過ごすのではなく、真面目に一生懸命、目の前のことに取り組み、やるなら楽しむ。そんな委員会活動を目指してきました。この委員会に関わった委員から、やっていた良かった、楽しい一年だった、そんな風にいつか思い出して頂ける時が来たら、スローガンの通り、楽しく有意義な委員会活動ができたということになるのでしょうか。

本年は、創立 60 周年記念式典にも携わり、当青年会議所が、歴史と伝統ある団体であることを、改めて実感致しました。諸先輩方にも、過去の記念式典で行ったことや、それを踏まえたアドバイス等、頂戴いたしました。また、応援の言葉を頂くこともございました。我々委員会だけでなく、多くの方々の協力を賜り、この一年を過ごして参りました。改めて御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

最後に、様々な場面で私を支えてくれた鈴木豪彦担当、実務や財務面などで私のフォローをしてくれた十文字宗博副委員長、委員会活動に率先して参加をし、スタッフ委員として会議体でも活躍してくれた渋谷大介スタッフ委員、新人ながら積極的に委員会活動に参加をし、委員会を活性化してくれた鳴島慎介君、新人ながら目の前のことに精一杯取り組み、様々な場面で気遣いも見せてくれた小室進恭君、与えられた役割に対し、真剣に取り組み、委員会の雰囲気明るくしてくれた設楽恭平君、自身の経験に基づき、不足している箇所にはアドバイス等フォローを下さった橋本恵一君。本当に多くの方に支えられ、委員長として楽しい一年を過ごすことができました。この場を借りて、改めて感謝申し上げます。当委員会に関わった方々の、今後のご活躍をご祈念申し上げ、私の事業報告と致します。一年間ありがとうございました。

公益社団法人日本青年会議所出向報告

日本創生グループ 地方創生会議
広報幹事 緑川 正博

(公社)日本青年会議所 日本創生グループ 地方創生会議の広報幹事として出向させていただきました。

地方創生会議は(公社)日本青年会議所の101会議(委員会)であり、1丁目1番地としての役割を果たすべく、1年間邁進してまいりました。

京都会議、サマーコンファレンス、全国大会(宮崎)すべてでメインフォーラムを開催させていただき、又、それ以外でも理事長パワーセッションや地方創生大臣による社会保障フォーラム等を全国各地で開催させていただきました。

地方創生への道標を全国各地のLOMへ伝えられたと実感しております。

我々地方創生会議の1年間の取り組みや成果は次年度の(公社)日本青年会議所の会議(委員会)へ引き継がれておりますので地方創生への歩みは止まりません。

私自身もこの出向の経験を生かし、LOMに還元し、しらかわの地方創生の後押しをしていきたいと考えております。

人と人のつながりこそ、JCの強みだと私は考えます。全国に仲間がいることが実感でき、同じ志で過ごしているのだと肌で感じることができました。

最後になりますが、貴重な経験をさせていただいた有賀一裕理事長、そして地方創生会議との縁をつないでくださった金子善弥副理事長、そして様々な手助けや応援をくださった(公社)白河青年会議所のメンバーの皆さま、1年間本当にありがとうございました。心から感謝を申し上げます。

LOM支援グループ 褒賞委員会
会計幹事 鈴木 浩一郎

先ず褒賞委員会に関わっていただいた皆様に心より厚く御礼申し上げます。昨年12月上旬に急に出向の依頼がきました。返事の猶予は1日。正直出向したくはなかったのですが、何故か迷いました。ラストイヤーだから楽に卒業したいとか、お金がかかるとか、ネガティブなイメージでしか考えられませんでした。ある先輩の今までにない説得と妻に「悔いのこらない？」の一言、そして自分自身でも「このままでいいのか」という想いで出向を決めました。それでも覚悟半分でした。私は新たなコミュニティに飛び込むことが嫌いです。しかしよく考えれば12年前もJCが新たなコミュニティだったはず。長らくJC在籍し数々の役職を務め、いつしか横柄な自分になっていたのだと思います。12月は委員会顔

合わせはとっくに終わっていて、ほぼぶっつけ本番の京都での第一回全体委員会。スタッフの殆どが年下。しかしそこはJCの常識である縦社会組織。LOMで監事、日本JCでは幹事という全く真逆の役割を担ったわけです。出向した以上は、役割は全うするために自分なりによく考えて行動したり、少し努力してみたり、自分の考えを押し通すのではなく、まず与えられたことを黙々とやることを徹底してみました。LOMでは後輩たちが当たり前のようにやってくれることが、ここでは私の役割なわけです。その役割が40歳にして新たな気付きもあり、成長したかどうかなど自分ではわかりませんが、プラスになったことは間違いありません。本来褒賞委員会としての事業報告を書くべきなのですが、私にはそれ以上に得たものが多い出向だったのでした。出向させてくれた有賀理事長、背中を押してくれた先輩、一緒に道連れになってくれた同い年の白岩修一君、正会員1ヶ月で出向してくれることになった近藤有美君。この方々には感謝以外の言葉が見つかりません。一年間ありがとうございました。

LOM 支援グループ 褒賞委員会
委員 白岩 修一

2018年度（公社）日本青年会議所 LOM 支援グループ褒賞委員会に出向させていただきました。所属していた委員会ではクラウドファンディング活用のサポートを行ってきました。クラウドファンディングによる共感を得て更なる事業展開や事業規模の拡大などに有効な手段であると認識しました。

今後白河JCでも是非ともクラウドファンディングを活用し、更なる事業を展開していただきたいと思います。

日本JCに出向させていただきLOMという垣根を越えて集ったメンバーと過ごした時間は大変貴重な経験となり、自分の成長に繋がりました。

出向にご支援頂きましたメンバーの皆様誠にありがとうございました。

そして、会計幹事として重責を全うした鈴木浩一郎君、全国大会の大舞台で司会を務めた近藤有美君大変お疲れ様でした。

LOM 支援グループ 褒賞委員会
委員 近藤 有美

入会3ヶ月にもかかわらず、日本青年会議所LOM支援グループ褒賞委員会に出向させていただきました。LOMの動きすらも認識していない状態だった私に出向先の委員長をはじめとするスタッフの方から多くの学びや機会の提供をしていただきました。褒賞委員会の委員になったことによって、世界や日本各地でどんな問題があり、その問題を継続的な改善のためにどう取り組んでいるのかの事業の議案を知ることができました。また議案の書き方もよく理解できていない私でしたが、ASPACのJCIアワードに申請するNOM拡大開発部門の資料を作らせていただきました。議案書を読み込み、背景や効果、結果

を基にどのような資料を作れば世界の人に伝わるのか、何度も頭を悩ませましたが副委員長、経験豊富な委員に助けられ作成することができました。惜しくも賞の受賞には至りませんでしたでしたが今後の糧になる経験をさせていただきました。また全国大会のアワードジャパンという大舞台で、司会という大役を仰せつかりました。そこでは委員会全員が素晴らしい授賞式にしたいという熱い思いの中、入念な打合せと練習の成果もあり、無事成功を収めることができました。そして、世界大会インドゴアで開催されたJCIアワードにも参加させていただき、池田会頭の最優秀NOM会頭賞の受賞の瞬間も立ち会うことができました。一緒に出向しました鈴木浩一郎会計監事、白岩修一委員の頼れるお二人のお陰であつという間の一年でした。辛いときや悩んでいるときにお二人からの温かい声や励ましのお言葉で乗り越えることができました。本当にお二人には感謝しきれません。ありがとうございました。最後に、有賀理事長には一年という短い期間で密度の高い経験をさせていただきましたことを感謝申し上げますとともに出向者報告とさせていただきます。

LOM 支援グループ 日本アカデミー会議
委員 十文字 俊之

(公社) 日本青年会議所東北地区福島ブロック協議会の推薦枠にて日本アカデミー会議にも出向させて頂きました。といっても各種予定と重なり、多くは参加出来ませんでしたが、京都会議での「未来を切り開く人財フォーラム」やサマーコンファレンス2018「価値創造フォーラム」へ参加させて頂きました。又、5日間に渡る御殿場での日本アカデミー研修では、2日目の陸上自衛隊への体験入隊を楽しみにしておりましたが、2018しゃくなげCUPcoupling 会頭公式訪問と重なり、いわきの地へ戻り、会頭・副会頭と一緒にプレーさせて頂くなど、多くの学びと経験を得ることが出来ました。

来年以降もこの経験を活かし、広域的に活動・運動して行ければと願い、(公社) 日本青年会議所 LOM 支援グループ日本アカデミー会議としての出向者報告とさせていただきます。

日本創生グループジャパン・ブランド確立委員会
委員 鈴木 恒平

2018年度は日本創生グループジャパン・ブランド確立委員会に、地区委員会の枠組として委員として出向させていただきました。

私は今回の出向で初めて日本に出向させていただきました。地区出向枠ということもあり、LOMや地区の事業と重なることも多く出席自体は全体の3分の1程度でしたが、この委員会では各地域の特産品や企業の商品をジャパンブランドとして、青年会議所が外国へ向けて発信する事業を行っていました。商品のブランド化は珍しい事業では無いですが、日本青年会議所のスケールメリットを生かした情報収集やリスト化、企業との連携を肌で

感じる事が出来、その情報を元に日本の訪中ミッションやASPAC等で実際に発信することまで経験できました。2019年度の日本定款にはビジネス機会について明記されることもあり、次世代へ続く事業の一端に関わることが出来ました。この委員会で得た経験はとても新鮮なものであり、先輩達より教えていただいた「青年会議所の無限可能性」を感じる事が出来ました。

2019年度はLOMの委員長として、この経験が十分に還元できるように邁進したいと考えています。

東北地区協議会出向報告

東北の未来創造委員会
副委員長 鈴木 恒平

今年度は東北の未来創造委員会へ、副委員長として出向させていただきました。

私は主に東北地区77LOM理事長サミットとASPACへのブース出展を担当させていただきました。まず、理事長サミットでは東北地区の理事長皆様の率直な意見を聞く貴重な機会となり、地方としての各ブロックでの実情や展望の違いについて聞くことができました。その上で、課題を解決に向けて他LOMとの連携する難しさを知ることができ、実際に他LOMや他団体との連携事業を行う際の難しさを団体のトップの視点より知ることができました。ASPACのブース出展においても、何を発信し何を伝えるかの難しさを知ることができました。そのことはJCのニーズに応えることに繋がると思い、独りよがりにならずに物事を進めていく大切さを実感できました。

印象的なことを2つ上げましたが、他にも多くのことを学んだ出向となりました。2019年度はLOMの委員長として、この経験が十分に還元できるように邁進したいと考えています。出向を支えていただいた、理事長をはじめとしますLOMの皆様ありがとうございました。特に幹事として、一緒に出向いただいた片桐伸太郎君には心より感謝を伝えます。

東北の未来創造委員会
委員 片桐 伸太郎

まず初めに、日本青年会議所東北地区協議会 東北の未来創造委員会の幹事として出向させて頂きました事、多くのご支援を賜りました事、有賀理事長はじめ多くのメンバーの皆様へ感謝申し上げます。また、東北地区協議会に初めての出向ということで、右も左も分からない私を引っ張ってくれた鈴木恒平副委員長ありがとうございました。

東北各地での委員会活動、事業を行うことにより多くの同志達と出会い、他の LOM で行っている素晴らしい活動やメンバーの動きを見て多くのものを学び、とても刺激となりました。また、その土地の文化や食にふれあうことができ、新たな発見を得ることが出来ました。この学びは出向しなくては得られないものだと感じており、とても貴重な体験をさせて頂いたと思っております。ここで得た物、学んだことを糧に今後の J C 活動に励んでまいりたいと思います。

東北ゼミナール委員会
委員 上田 雄介

入会以来はじめて東北地区へ出向させていただきました。

東北各地より精鋭たちが集い切磋琢磨しあい、近い将来に各 LOM を背負って立つであろう仲間と出会えたことが一番の収穫であり財産です。

各種事業と重なり、思うように参加することは叶いませんでしたが、学び・刺激・出会いと改めて出向の醍醐味を味わうことが出来ましたので、今後は若手メンバーにもその良さを知っていただけるよう出向の後押しをしていきたいと思っております。

ありがとうございました。

福島ブロック協議会出向報告

組織連携委員会
委員 飯村 悟

2018 年度は（公社）日本青年会議所東北地区福島ブロック協議会組織連携推進委員会の委員として出向させていただきました。県内各地における委員会開催にあたり、LOM という垣根を越えて集ったメンバーと過ごした時間は自分自身にとって貴重な経験となり、たくさんのお出会いは貴重な財産となりました。いただいた経験と財産を今後の J C 運動、仕事、日常生活に生かしていきたいと思っております。

アカデミー委員会
副会長 十文字 俊之

今年度、『自立し尊重し合う多様な人々の調和による 愛と希望溢れるふくしまの創造』を基本理念に掲げた。福島ブロック協議会では、県南エリア並びにアカデミー委員会を担当させていただきました。福島県の中でも県南エリアは、白河 JC・郡山 JC・須賀川 JC・東白川 JC・いわき石川 JC・田村 JC と 6 つ会員会議所と一番多いエリアであり、活発的なエリア会議となりました。県南エリア、すべての会員会議所を回らせて頂き、各理事長始めメンバーには大変お世話になりました。

アカデミー委員会では、未来を創るアイデアを恐れず出し、周囲を変えることのできる創造性と協調性を持ち合わせる人財『イノベーション人財』を育成するべく、女性活躍セミナーや地域ブランディングセミナー・ユニバーサルデザインセミナーの他、多くのセミナーを開催させて頂きました。7月のブロック大会では、前代未聞のアカデミー委員会100%出席を実現するなど、まさに周囲を変えることのできる創造性と協調性を持ち合わせる人財へと育てて頂いたと確信し、2018年度アカデミー生が地域を、ふくしまを、そして未来を担ってくれることを願ひまして、(公社)日本青年会議所東北地区福島ブロック協議会副会長としての挨拶に返させて頂きます。

アカデミー委員会
幹事 北村 篤史

今年度はアカデミー委員会へ、幹事として出向させて頂きました。

出向するにあたり「いらん事せんように」を念頭に一年間過ごさせて頂きました。

当 LOM から出向しました、北住君・小磯君・近藤君の3人の成長は言わずもがなですが、各々が違う塾で一生懸命に活躍している姿を見て勝手ながら巣立つ雛鳥を見る気持ちになっていました。今後の御三方の御活躍は間違いないものと確信しております。

自分自身では他 LOM のアカデミー生と関わり合う事で、LOM 毎の違いやメンバー自身が感じる思いを相談される機会が多々あり、こんな私でも少しは役に立てたと感じる事もありました。スタッフは2014年に同期のアカデミー生や塾長が多く色んな面で御世話になりましたが、御世話もしました、色んな事を相談できる仲間がまた増えた事が、何よりの収穫だったと感じております。私は今後出向する事が出来ません、しかし今年度知り合えた仲間との経験を糧に来年からまた頑張れるでしょう。

最後になりますが、出向という最後の花道を用意して頂きました、有賀理事長に感謝を申し上げます。またアカデミー開講式・福島ブロック大会・アカデミー閉校式に多くのメンバーに参加して頂きありがとうございました。この場を借りて申し上げさせて頂きます。また何よりも2016年度から出向等で御一緒させて頂きました、十文字俊之君、副会長の大役を務め上げながらもお気遣い大変ありがとうございました。そしてお疲れ様でした。

福島ブロック協議会アカデミー委員会
委員 北住 平

2018年度 福島ブロック協議会アカデミー委員会 委員として出向させて頂きました。

はじめに、このような機会を与えて頂いた、有賀理事長をはじめとする、白河青年会議所メンバーの皆様、本当にありがとうございました。

入会して間もない私が、そのような所へ出向して大丈夫なのかという不安ばかりでしたが、LOMメンバーの支えがあり、最後まで全うする事ができました。

私自身、ここからが本当のスタートだと捉えています。アカデミー委員会で得ることが出

来た「知識」、「経験」、そして「大切な仲間」をフル活用し、白河青年会議所の力になれるよう邁進してまいります。

福島ブロック協議会アカデミー委員会

委員 小磯 祥晃

はじめに、福島ブロック協議会アカデミー委員会へ出向させていただき、ありがとうございました。開校当初は、LOM 事業や委員会活動とも重なり忙しいだけじゃないかと感じる事もありました。しかし、LOM を越えた仲間たちとの出会い、そして共に経験したことは知識や気づきといった事であると同時に、すばらしき友情となっていると実感します。

有賀理事長の「しらかわは1つ」その言葉の通りに、北住平君、近藤有美君と塾は違えども良きチーム良き理解者として支えあい、閉校式に際しましては3人ともども表彰されるという結果に繋がったと思います。この成果を自信にかえて、今後の活動に活かしていきたいと思います。

福島ブロック協議会アカデミー委員会

委員 近藤 有美

アカデミー委員会ではイノベーション人財の一人となるために女性活躍推進、地域ブランディング、ユニバーサルデザイン、実践的なプレゼンセミナーを受講させていただきました。JCとはどんな団体か理解を深め、原理原則を学び、どんな手法で地域や人を巻き込んで問題解決をしていけるのかということを実践しながら学んでいきました。県内各地のLOM 塾生と課題解決のために様々な角度からのアイディアや手法を知り、多くの刺激を受けることができました。挑戦からの失敗、失敗からの対策、また挑戦、その繰り返しでしたが、一年前の自分より一歩前に進めたと感じます。また大変有難いことにアカデミー委員会の最優秀賞と塾リーダー賞をいただきました。賞をいただいたことにより自信につながりましたが、それと同時に賞の重みを実感しました。賞に恥じぬようこれからもイノベーションを巻き起こすひとりとして邁進してまいります。有賀理事長、日本青年会議所に続き福島ブロックでも出向する機会の提供をいただきましたことを重ねて心より感謝申し上げます。

ブロック大会実行委員会

委員 上田 雄介

今回の出向にあたりご協力頂いたメンバーの皆様、ありがとうございました。

ブロック大会実行委員会はまず、ブロック大会を成功させるという目的の真髓にあります。そのためにはメンバーが一致団結しなくてはなりません。初めて出会うメンバーでしたが委員会での議論を重ねることでチームになっていく様は見事でした。

2020年には白河での開催が決定しました。もう後戻りは出来ません。

みんなで成功へと導けるよう、白河JCもより強固なチームへなれるよう邁進していきたいと思います。1年間ありがとうございました。

総務委員会
副委員長 金澤 史典

今年度は、福島ブロック協議会 総務委員会 副委員長として出向させていただきました。会議体の多さに圧倒されましたが、会議に参加していく中で福島の抱える課題や各 LOM の抱える課題が見えてきました。設営、資料作成がメインの職務でしたが、新春の集いや事業報告会などの中で気づきや学びが得られました。出向の機会を頂きました有賀理事長ありがとうございました。

県内のメンバーのつながりの素晴らしさと JC の活動の迅速さと正確さを実感することができました。そしてメンバーの皆様、本当にありがとうございました。

4. 会議、行事

| 月日 | 行事内容 | 場所 |
|------|-------------------------|------------------------|
| 1月 | | |
| 1月4日 | 平成29年新春市民交歓会 | 鹿島ガーデンヴィラ |
| 〃 | 成功祈願 | 南湖神社 |
| 〃 | 第1回三役会 | 白河 J C 会館 |
| 1月5日 | (公社)会津青年会議所新年会 | 会津若松ワシントンホテル |
| 7日 | 平成29年度白河市成人式 | 白河市民会館 |
| 9日 | 第1回理事会 | 白河 J C 会館 |
| 11日 | 第3回企画室スタッフ会議 | 白河 J C 会館 |
| 12日 | 桑名青年会議所新年会 | 桑名シティホテル |
| 13日 | 第1回県南エリア会議 | 郡山市 |
| 16日 | 公益社団法人郡山青年会議所 新年会 | 郡山ビューホテル |
| 17日 | 矢吹ロータリークラブ新年会 | ホテルニュー日活 |
| 〃 | 社団法人行田青年会議所 新年会 | 埼玉県行田市 |
| 〃 | 白河商工会議所女性会新年会 | 東京第一ホテル新白河 |
| 18日 | 公益社団法人二本松青年会議所 新年会 | ウェディングパレスかねすい |
| 19日 | 京都会議 | 京都 |
| 20日 | 京都会議 | 京都 |
| 21日 | 京都会議 3LOM意見交換会 | 京都 |
| 23日 | 公益社団法人白河青年会議所 1月定時総会 | 白河 J C 会館 |
| 24日 | 白河商工会議所青年部 新年会 | 東京第一ホテル新白河 |
| 26日 | 公益社団法人白河青年会議所 新年会 | 東京第一ホテル新白河 |
| 27日 | 公益社団法人いわき青年会議所 新年会 | いわきワシントンホテル椿山荘 |
| 28日 | 第3回企画室会議 | 白河 J C 会館 |
| 2月 | | |
| 2月1日 | 第2回三役会 | 白河 J C 会館 |
| 2日 | 第1回会員会議所会議 | いわき湯本温泉吹の湯旅館 会議室 |
| 3日 | 2018年度福島ブロック協議会「新春のつどい」 | スパリゾートハワイアンズ ホテルハワイアンズ |
| 6日 | 第2回理事会 | 白河 J C 会館 |
| 9日 | 第2回県南エリア会議 | 田村 |
| 11日 | ユネスコ街頭募金 | 中央公民館前 |
| 13日 | 第4回スタッフ会議 | 白河 J C 会館 |
| 13日 | 戊辰150周年式典部会 | 市役所 601 |
| 15日 | 2018年度白河JCじゃがいもクラブ役員会 | 新駒本店 |
| 16日 | 金沢会議 | 金沢市 |
| 17日 | 金沢会議 | 金沢市 |
| 18日 | 金沢会議 | 金沢市 |
| 20日 | 第4回企画室会議 | 白河 J C 会館 |

| | | |
|-------|--|----------------|
| 22日 | 一般社団法人東白川青年会議所 新年会 | 新富家 |
| 23日 | 白河JCシニアクラブ総会・懇親会 | 東京第一ホテル新白河 |
| 1月28日 | 2月定例会 鈴木和夫氏基調講演「輝くしらかわの実現の為に」～ 戊辰戦争150周年を迎えるにあたり、白河JCに期待すること～ | 白河JC会館 |
| 3月 | | |
| 3月1日 | 第3回三役会 | 白河JC会館 |
| 5日 | 第2回会員会議所会議 | 原町 |
| 6日 | 第3回理事会 | 白河JC会館 |
| 12日 | 第5回スタッフ会議 | 白河JC会館 |
| 16日 | 第3回県南エリア会議 | 白河市 |
| 19日 | 3月定例会「輝くしらかわ創造会議 ～未来への道標～」 | 白河JC会館 |
| 22日 | 第5回企画室会議 | 白河JC会館 |
| 24日 | 公益社団法人日本青年会議所 第157回総会 | 東京ビックサイト |
| 25日 | 関山山開き | 関辺市民体育館 |
| 27日 | 財政審査会議 | 白河JC会館 |
| 4月 | | |
| 1日 | じゃがいもクラブオープン杯 | 那須ちふり湖カントリークラブ |
| 2日 | 第4回三役会 | 白河JC会館 |
| 3日 | 第3回会員会議所会議 | 相馬 |
| 6日 | 第4回理事会 | 白河JC会館 |
| 10日 | 10年後撮影勉強会 | 白河JC会館 |
| 13日 | 第6回スタッフ会議 | 白河JC会館 |
| 16日 | 第4回県南エリア会議 | 東白川 |
| 18日 | 公益社団法人白河青年会議所2018年度 4月定例会～時代に合わせて進化しよう～ | 白河JC会館 |
| 22日 | 新人研修セミナー | 白河JC会館 |
| 22日 | 観桜会 | ホテルニュー日活 |
| 23日 | 第6回企画室会議 | 白河JC会館 |
| 27日 | 財政審査会議 | 白河JC会館 |
| 29日 | 10年後に届くハガキ発送事業 | 白河市役所駐車場 |
| 5月 | | |
| 1日 | 第5回三役会 | 白河JC会館 |
| 7日 | 第5回理事会 | 白河JC会館 |
| 8日 | 第4回会員会議所会議 | 須賀川 |
| 14日 | 第7回スタッフ会議 | 白河JC会館 |
| 18日 | 5月定例会 働く人のストレスマネジメント～自己理解から自己成長へ～ | 白河JC会館 |
| 22日 | 第7回企画室会議 | 白河JC会館 |
| 24日 | アジア・太平洋地域会議 (ASPAC) | 鹿児島 |
| 28日 | 財政審査会議 | 白河JC会館 |
| 30日 | 第6回三役会 | 白河JC会館 |
| 31日 | 白河ユネスコ協会総会 | 白河市役所 |
| 6月 | | |

| | | |
|-----|--|------------------------|
| 1日 | N E X Tしらかわ！出展者説明会 | 白河 J C 会館 |
| 2日 | 白河ロータリー60周年記念式典・祝賀会 | 東京第一ホテル新白河 |
| 5日 | 第6回理事会 | 白河 J C 会館 |
| 8日 | 第5回会員会議所会議 | 東京第一ホテル新白河 |
| 12日 | 第8回スタッフ会議 | 白河 J C 会館 |
| 14日 | 白河ライオンズクラブ新旧役員交代式 | 鹿島ガーデンヴィラ |
| 16日 | N E X Tしらかわ！ | 白河文化交流館コミネス、白河市立図書館駐車場 |
| 20日 | じゃがいもクラブ会長杯 | 白河国際カントリー倶楽部 |
| 19日 | 第6回県南エリア会議 | いわき石川 |
| 21日 | 第8回企画室会議 | 白河 J C 会館 |
| 26日 | 6月定例会 熱い想いを学ぶ～先駆者となる者たれ～ | 白河 J C 会館 |
| 27日 | 財政審査会議 | 白河 J C 会館 |
| 〃 | 選挙育成プログラム「みらいく」 | 川谷中学校 |
| 7月 | | |
| 2日 | 第7回三役会 | 白河 J C 会館 |
| 4日 | 第1回役員資格審議委員会 | 白河 J C 会館 |
| 5日 | 第7回理事会 | 白河 J C 会館 |
| 7日 | アカデミー委員会成果発表事業 | 会津 |
| 8日 | 福島ブロック大会 | 会津 |
| 12日 | 第9回スタッフ会議 | 白河 J C 会館 |
| 15日 | 公益社団法人白河青年会議所創立60周年記念式典 | 東京第一ホテル新白河 |
| 16日 | 白河 J C 60周年記念コンペ | 白河高原カントリークラブ |
| 18日 | 7月定例会 ～気づきからの挑戦～ | 白河 J C 会館 |
| 21日 | サマーコンファレンス | 横浜市内 |
| 22日 | サマーコンファレンス | 横浜市内 |
| 23日 | 第9回企画室会議 | 白河 J C 会館 |
| 26日 | 財政審査会議 | 白河 J C 会館 |
| 8月 | | |
| 1日 | 第8回三役会 | 白河 J C 会館 |
| 〃 | 2019年度第1回三役候補者会議 | 白河 J C 会館 |
| 4日 | 白河 J C 創立60周年記念事業第3弾強く逞しくなろう！～生きるとは食べること～つよたくキャンプ！ | 国立那須甲子青少年自然の家 |
| 5日 | 白河 J C 創立60周年記念事業第3弾強く逞しくなろう！～生きるとは食べること～つよたくキャンプ！ | 国立那須甲子青少年自然の家 |
| 6日 | 第8回理事会 | 白河 J C 会館 |
| 10日 | 第10回スタッフ会議 | 白河 J C 会館 |
| 17日 | 第7回県南エリア会議 | 郡山市 |
| 23日 | 第10回企画室会議 | 白河 J C 会館 |
| 26日 | S - 1 グランプリ | ひじりん館 |
| 28日 | 2018年度8月定時総会 | 白河 J C 会館 |
| 29日 | 財政審査会議 | 白河 J C 会館 |

| | | |
|-----|---|-------------------|
| 31日 | 第9回三役会 | 白河 J C 会館 |
| 〃 | 2019年度第2回三役候補者会議 | 白河 J C 会館 |
| 9月 | | |
| 1日 | 東北地区協議会 東北青年フォーラム | 三沢国際交流スポーツセンター |
| 6日 | 第9回理事会 | 白河 J C 会館 |
| 〃 | 2019年度第1回役員候補者会議 | 白河 J C 会館 |
| 9日 | やぶきフロンティア祭り | 矢吹町役場文化センター |
| 12日 | 第11回スタッフ会議 | 白河 J C 会館 |
| 18日 | 9月定例会 ～しらかわの未来を切り開く地方創生プログラム～ | 白河 I C 会館 |
| 19日 | 第8回県南エリア会議 | 田村 |
| 20日 | 第11回企画室会議 | 白河 J C 会館 |
| 21日 | 第10回しらかわ会議 | 東京第一ホテル新白河 |
| 27日 | 財政審査会議 | 白河 J C 会館 |
| 28日 | 第10回三役会 | 白河 J C 会館 |
| 〃 | 2019年度第3回三役候補者会議 | 白河 J C 会館 |
| 10月 | | |
| 3日 | 第10回理事会 | 白河 J C 会館 |
| 〃 | 2019年度第2回役員候補者会議 | 白河 J C 会館 |
| 6日 | 公益社団法人日本青年会議所 第67回全国大会 | 宮崎県 |
| 7日 | 全国大会 3 L O M 合同昼食会 | 宮崎県 |
| 10日 | 第12回スタッフ会議 | 白河 J C 会館 |
| 12日 | 公益社団法人白河青年会議所 一般社団法人東白川青年会議所 2018年度10月合同定例会 | 棚倉町文化センター倉美館 |
| 20日 | じゃがいもクラブシニア会長杯 | グリーンアカデミーカントリークラブ |
| 21日 | 昭和歌謡コンサート | 白河文化交流館コミネス |
| 22日 | 第12回企画室会議 | 白河 J C 会館 |
| 24日 | 2019年度第2回会員会議所理事長候補者会議 | 福島市民会館 |
| 27日 | 白河 J C 創立 6 0 周年記念事業 第 4 弾 親子でいっしょにスポーツ共育～スナッグゴルフ～ | グランディ那須白河ゴルフクラブ |
| 28日 | 白河戌辰ラーメン合戦 | 小峰城広場 |
| 29日 | 財政審査会議 | 白河 J C 会館 |
| 31日 | 第11回三役会 | 白河 J C 会館 |
| 〃 | 2019年度第4回三役候補者会議 | 白河 J C 会館 |
| 11月 | | |
| 1日 | 第9回県南エリア会議 | 東京第一ホテル新白河 |
| 5日 | 2019年度第3回役員候補者会議 | 白河 J C 会館 |
| 〃 | 第11回理事会 | 白河 J C 会館 |
| 8日 | YEG・JC・RC交流ゴルフコンペ | 那須加霞ヶ城ゴルフクラブ |
| 9日 | 白河商工会議所創立 7 0 周年記念式典並びに祝賀会 | 鹿島ガーデンヴィラ |
| 11日 | 白河小峰ライオンズ 4 5 周年記念式典並びに祝賀会 | 東京第一ホテル新白河 |
| 12日 | 白河小峰ライオンズ 4 5 周年記念ゴルフ大会 | NPO法人白河ゴルフクラブ |

| | | |
|-----|----------------------------|----------------|
| 〃 | 第1回企画室スタッフ会議 | 白河 J C 会館 |
| 18日 | 白河JCじゃがいもクラブ理事長杯・卒業生追出しコンペ | 白河ゴルフ倶楽部 |
| 19日 | 11月定例会 | 白河 J C 会館 |
| 21日 | 第1回企画室会議 | 白河 J C 会館 |
| 24日 | 2019年度第3回会員会議所候補者会議 | いわき |
| 〃 | 第10回会員会議所会議 | いわき |
| 25日 | アカデミー閉校式 | カルチェド・シャン・ブリアン |
| 〃 | 2018年度事業報告会・卒業式 | カルチェド・シャン・ブリアン |
| 27日 | 財政審査会議 | 白河 J C 会館 |
| 30日 | 2018年度第5回三役候補者会議 | 白河 J C 会館 |
| 〃 | 第12回三役会 | 白河 J C 会館 |
| 12月 | | |
| 3日 | 2018年度12月定時総会 | 白河 J C 会館 |
| 5日 | 2019年度第4回役員候補者会議 | 白河 J C 会館 |
| 〃 | 第12回理事会 | 白河 J C 会館 |
| 12日 | 第2回スタッフ会議 | 白河 J C 会館 |
| 21日 | 第2回企画室会議 | 白河 J C 会館 |
| 27日 | 財政審査会議 | 白河 J C 会館 |